

平成29年度 事業報告

第1 事業

平成29年度の我が国の経済情勢は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復が続いており、持続的な経済成長の実現に向け、『生産性革命』と『人づくり革命』を車の両輪として、少子高齢化に立ち向かうための各種政策効果により、今後も景気は緩やかな回復が続くことが見込まれている。

経済効果のある景気回復が大きく期待されているものの、タクシー事業にあっては輸送人員・実車率・営業収入の低迷が続き、厳しい営業を強いられており、好転する材料を見出せない現状となっている。

こうしたなか、山口県では昨年9月に前回運賃改定から9年ぶりに、国に対して運賃改定申請がなされたが、申請車両数が全体車両数の7割に達しなかったため、運賃改定は見送られた。

一方で「ライドシェア」と称する白タク行為を解禁しようとする動きは、規制改革会議・未来投資会議などで引き続き議論が行われ、ライドシェア解禁を求める動きは衰えていない。

さらに、在日中国人が国際空港やクルーズ船が入港する港等において、スマホアプリを使い自家用車による運送行為を行う「白タク」が各地で横行していることから、山口県内の情報の収集と共有を行った。

「働き方改革」については、昨年3月に策定された国の「働き方改革実行計画」において、罰則付きの時間外労働の上限規制が設けられたことから、全タク連において「働き方改革の実現に向けたアクションプラン」が策定され、今後、これに基づく長時間労働の縮減等への取り組み・対応が求められている。

また、交通空白地を抱える自治体にとって「乗合タクシー」の活用・促進は重要であることから、自治体に乗合タクシーの利便性について、積極的に情報提供した。

昨年10月には、トヨタ自動車から22年ぶりにタクシー専用車であるユニバーサルデザインタクシーが発売された。利用者と環境にやさしいタクシーであり、今後、事業者が導入しやすい環境づくりへの取り組みが必要となる。

そして、平成30年には明治維新150年を迎えることで、増加する観光客に対応するため、「観光タクシー」の利用促進に向けた取り組みを行なった。

このような情勢の中、当協会においては執行部及び専門委員会を中心に、当面する諸問題に取り組んだ主なものは次のとおりである。

1. 白タク問題への対応について

- (1) 全タク連主催の労務委員会に出席し、「ライドシェア」等に関する情報把握に努めるとともに、会員事業者への情報提供を行った。
- (2) 平成29年10月に自由民主党山口県支部連合会に対して「ライドシェアと称する白タク行為の断固阻止」に関する要望書を提出し支援を要望した。

2. 特定地域特措法等への対応について

- (1) 全タク連主催の経営委員会に出席し、特定地域特措法等の一部改正に関する情報把握に努めた。
- (2) 衆参両院の附帯決議に基づく準特定地域における適正化事業・活性化事業の取り組み状況について、フォローアップ調査に適切に対応した。

3. 利用促進について

- (1) 「タクシーの日」に、岩国、徳山、新山口、宇部新川、下関各JR駅前等において、「タクシーの日」のキャンペーンとして「のぼり旗」を掲出し、「8月5日はタクシーの日」、「安全で便利なタクシーをご利用ください」と記載したウエットティッシュを、市民やタクシー利用者に配布し、利用促進等を呼びかけた。
- (2) 観光タクシーの利用促進を図るため、山口県の「外国人観光客向け二次交通利便性向上事業」による補助を受け、山口県版「観光タクシープラン一覧冊子(多言語)」を作成した。今後、県内主要JR駅・空港・旅館組合・観光協会等に配付する予定である。作成部数は、日本語版2,000部、英語版1,500部、韓国語版1,500部。
- (3) 観光タクシー「駅から観タクン山口」(県内JR6駅起点)及び「観光スポットお手軽タクシー」(新山口駅～秋吉台経由～萩市内)を継続実施するとともに、「駅から観タクン山口」については、JR西日本の積極的なPRによりタクシー利用の促進を図った。

○駅から観タクン山口 29年度利用実績(6駅・7プラン) 158件

- (4) 一般社団法人山口県観光連盟において、山口県の「おもてなし力」を力強く発信することを目的として創設された制度である「おもてなし山口マイスター」に、優れたおもてなしスキルを有し、他の模範となり、またその育成等に力を発揮しているタクシー乗務員を推薦し、その認定を受けた。

○認定乗務員数 29年度 19名

- (5) 平成30年の維新150年に向けた「やまぐち幕末ISHIN祭」プロジェクト推進委員会など、山口県、一般社団法人山口県観光連盟が行う観光関係会議に積極的に出席し、観光客誘致のための観光振興策等の情報を収集し、会員事業者へ情報提供を行った。

4. 地域交通確保対策について

- (1) 平成29年10月に全タク連作成の「乗合タクシー事例集 第3版」を、県内19市町の交通担当課に持参し、事例集の活用による乗合タクシーの普及・拡大について要請した。
- (2) コミュニティタクシー等への対応

地方自治体が主宰する地域公共交通会議等に積極的に参画し、地域住民の足の確保について協議するとともに、地域公共交通としてのコミュニティタクシー等への転換(働きかけ)や情報交換を積極的に行った。

○地域公共交通会議等

名 称	回 数	名 称	回 数
岩国市地域公共交通会議	2回	宇部市公共交通協議会	3回
和木町地域公共交通会議	1回	下関市地域公共交通会議	2回
柳井市地域公共交通会議	2回	萩市地域公共交通会議	2回
光市地域公共交通会議	2回	阿武町地域公共交通会議	1回
下松市地域公共交通活性化協議会	2回	長門市地域公共交通会議	2回
周南市地域公共交通会議	4回	美祢市地域公共交通協議会	4回
山口市地域公共交通会議	4回	防府市地域公共交通活性化協議会	4回

- (3) ボランティア輸送への対応として、地方自治体が主宰する運営協議会に積極的に参画し、NPO等によるボランティア輸送について、道路運送法の厳格な運用を求めるとともに、タクシーによる対応の可能性を最大限追及した。

○運営協議会

名 称	回 数
田布施町福祉有償運送運営協議会	1回
周防大島町有償運送運営協議会	1回
下関市福祉有償運送運営協議会	1回

5. 交通安全・交通事故防止について

(1) 交通安全運動等の実施

春・秋の全国交通安全運動、夏の交通安全県民運動、年末年始の交通安全県民運動を推進し、各運動の重点目標を中心に取り組んだ。

○春の全国交通安全運動

期 間 平成29年4月6日(木)～4月15日(土) 10日間

○夏の交通安全県民運動

期 間 平成29年7月11日(火)～7月20日(木) 10日間

○秋の全国交通安全運動

期 間 平成29年9月21日(木)～9月30日(土) 10日間

○年末年始の交通安全県民運動

期 間 平成29年12月10日(日)～平成30年1月3日(水) 25日間

(2) 山口県タクシー無事故月間の実施

年末年始の輸送繁忙期である平成29年12月1日から平成30年1月31日までの2か月間を山口県タクシー無事故月間と定め、無事故月間における交通事故防止活動を推進した。

(3) 研修・講習への参加

運行管理者等講習（基礎2回、一般9回）及び整備管理者研修（選任前隔月1回、選任後年1回）、「ガイドラインセミナー」「リスク管理セミナー」「内部監査セミナー」「適性診断」等への受講・受診について、「協会だより」により参加呼びかけや案内を行うなど、受講等の促進に努めた。

また、運行管理者試験（旅客）の受験対策として、「受験対策講座」を公益社団法人山口県バス協会と共催し、タクシーにおいては28名が受講した。

○運行管理者等講習（基礎）

開催日	開催地	受講者数
6月14日～16日	山口市	27名
2月7日～9日	山口市	17名
計	2回	44名

○運行管理者等講習（一般）

開催日	開催地	受講者数
6月8日	山口市	19名
9月8日	岩国市	20名
9月22日	宇部市	16名
10月12日	山口市	9名
10月25日	下関市	13名
11月9日	周南市	13名
12月7日	山口市	21名
1月30日	山口市	14名
2月27日	山口市	11名
計	9回	136名

○整備管理者選任後研修

開催日	開催地	受講者数
11月17日	山口市	19名
11月21日	山口市	37名
計	2回	56名

○運行管理者試験（旅客）

開催日	開催地	受験者数	合格者数	合格率
第1回（8月27日）	山口市	138名	44名	31.9%
第2回（3月4日）	山口市	105名	27名	25.7%
計	2回	243名	71名	29.2%

○自動車運転者適性診断

	一般	初任	適齢	特定	計
本所	69名	126名	245名	3名	443名
ナスバネット	129名	8名	56名	—	193名
計	198名	134名	301名	3名	636名

- (4) FM山口の「交差点及び道路横断中の交通事故防止」、「子供を交通事故から守ろう」をテーマとした「横断旗復活運動」に協賛し、設置個所や利用者が減りつつある横断旗の復活のため、「(一社) 山口県タクシー協会」の名称の入った横断旗を設置し、子供を交通事故から守り、安全安心の地域づくりに寄与した。

○設置本数(横断旗・収納ケース) 平成29年度 県内 15本

- (5) 山口運輸支局と関係団体による死者数・人身事故件数半減・飲酒運転ゼロを目指した「安全プラン2020」を新たに策定し、平成32年までの事故削減目標を設定した。

6. 労務対策について

- (1) 山口労働局による「自動車運転者時間管理等指導員」を活用した、タクシー運転手の労働時間の管理について、各事業者へ訪問し、乗務員の労働時間の適正管理について指導を行った。

平成29年度訪問指導実績：13事業者

- (2) 山口県運輸関係企業向け、人材確保に向けた最新の雇用情勢や国・県の支援メニューなど役立つ情報の提供を目的とした、山口運輸支局主催の「雇用関係情報説明会」に積極的に参加した。

参加会員事業者：17事業者

- (3) 乗務員の労務管理、健康管理対策等について、関係法令、健康管理マニュアルの周知を図るため関係機関との連携を強め、各種講習会・セミナー等への参加を積極的に推進した。

- (4) 全タク連主催の労務委員会に出席し、「労務問題を巡る諸情勢」について議論・検討を深めた。

7. タクシー類似行為対策について

- (1) 全タク連主催の地域交通委員会に出席し、「交通問題にかかる当面の諸課題」について議論・検討を深めた。

- (2) 事業者から提供があったタクシー類似行為事案については、運輸支局に情報提供を行うとともに、指導の徹底を要望した。

8. 広報活動について

- (1) 交通安全運動期間中において、県民への交通安全思想の普及を図るため、ラジオ放送(FM山口:エリア内人口約481万人, KRY山口放送:エリア内人口約690万人)を通じ、交通事故防止を呼びかけた。

- (2) 毎月の行事、行政庁等からの通達、全タク連からの指示・参考記事、協会の取組み内容等タクシーを巡る状況や動きについて、毎月定期発行の「協会だより」で全会員に通知した。また、必要に応じて通達の周知や業務連絡等も随時行った。

- (3) 協会ホームページを活用して、タクシー利用者への情報提供や会員・協会間の連絡体制の強化を図った。

9. タクシー運転者登録制度への対応

(1) 運転者登録制度実施に伴う申請手続き

山口県タクシー運転者登録センターにおいて、「タクシー運転者登録制度」に係る事業者や運転者からあった申請等に迅速に対応した。また、運転者登録制度に係る手続き方法や必要な見直しを「登録センターだより」等で周知を図った。

○登録実績

区 分		29年度 実績件数	28年度 実績件数	増 減
項 目				
運転者登録		185	215	-30
運転者証交付		369	316	53
運転者証訂正		659	649	10
運転者証再交付		10	10	±0
原簿謄本交付		0	0	0
原簿閲覧		0	0	0
業務経歴証明書交付		0	0	0
乗務証交付		0	2	-2
乗務証訂正		20	21	-1
乗務証再交付		0	0	0
登録消除		2	6	-4
登録取消		0	0	0
登録事項の 変更	免許証の有効期限等	659	649	10
	事業者変更（会社異動）	184	101	83
運転者証の返納		389	375	14

(2) 新規運転者講習の実施

「タクシー運転者登録制度」に係る新規運転者講習について、山口県タクシー運転者登録センターにおいて、専任講師による安全・法令・接遇教育を、カリキュラムに従って誠実に実施した。

○講習受講実績（年間24回実施）

	29年度	28年度	増 減
新規講習受講者数	177	212	-35
地理講習受講者数	8	6	2
合 計	185	218	-33

(3) 平成29年5月に登録諮問委員会を開催し、登録・講習実績等の報告を行うとともに、運転者登録制度に関する意見を伺い、登録事務を誠実に実施した。

10. その他

(1) 防災に対する取組

島根原発の災害発生時における福祉タクシーによる緊急輸送に関する協定締結について、島根県・鳥取県から要請があり、中国5県のタクシー協会合同で協定書の締結を行った。